

平成30年度「県民Webアンケート」 第3回 医薬品の服用に関する意識調査

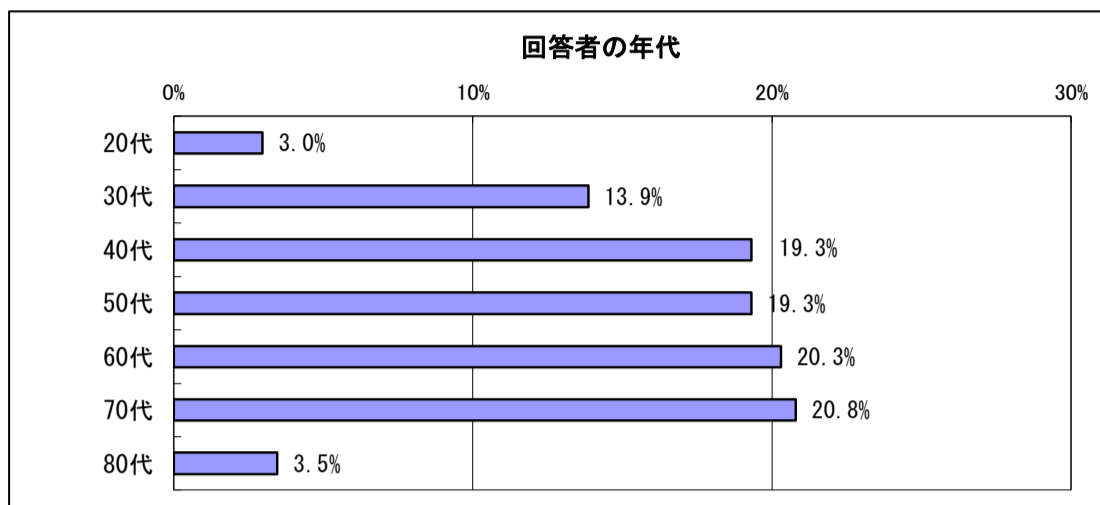
○実施期間 2018/8/2～2018/8/8

○アンケート会員数 228人 回収数 202件 (回収率 88.6%)

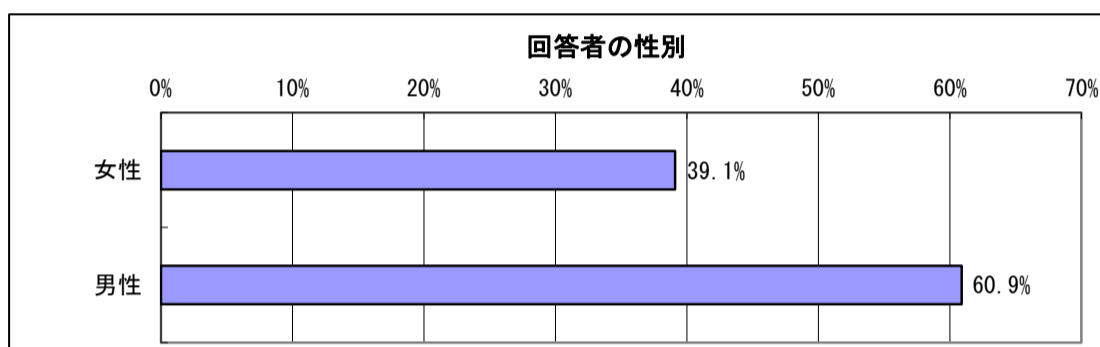
○ 医療費の適正化における重要施策の一つとして、ジェネリック医薬品の推進及び医薬品の適正使用が掲げられています。そのため、ジェネリック医薬品の使用経験や重複・多剤投薬にかかる県民の意識調査を行い、今後の施策推進における参考指標として活用します。

奈良県が策定した第3期医療費適正化計画の計画期間が平成30年度から平成35年度までの6年間であることから、経年比較を行うため、昨年度と同テーマのアンケートを実施します。

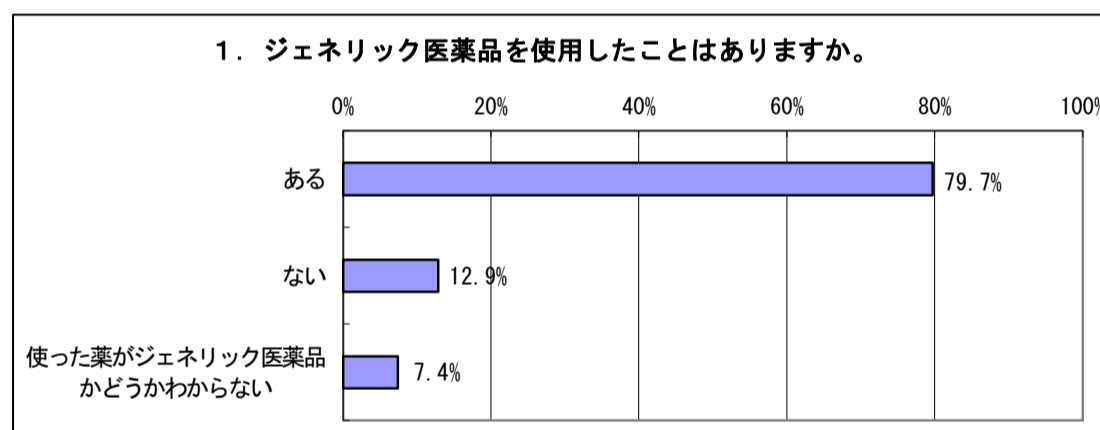
回答者の年代	回答数	比率
20代	6	3.0%
30代	28	13.9%
40代	39	19.3%
50代	39	19.3%
60代	41	20.3%
70代	42	20.8%
80代	7	3.5%
総計	202	100.0%



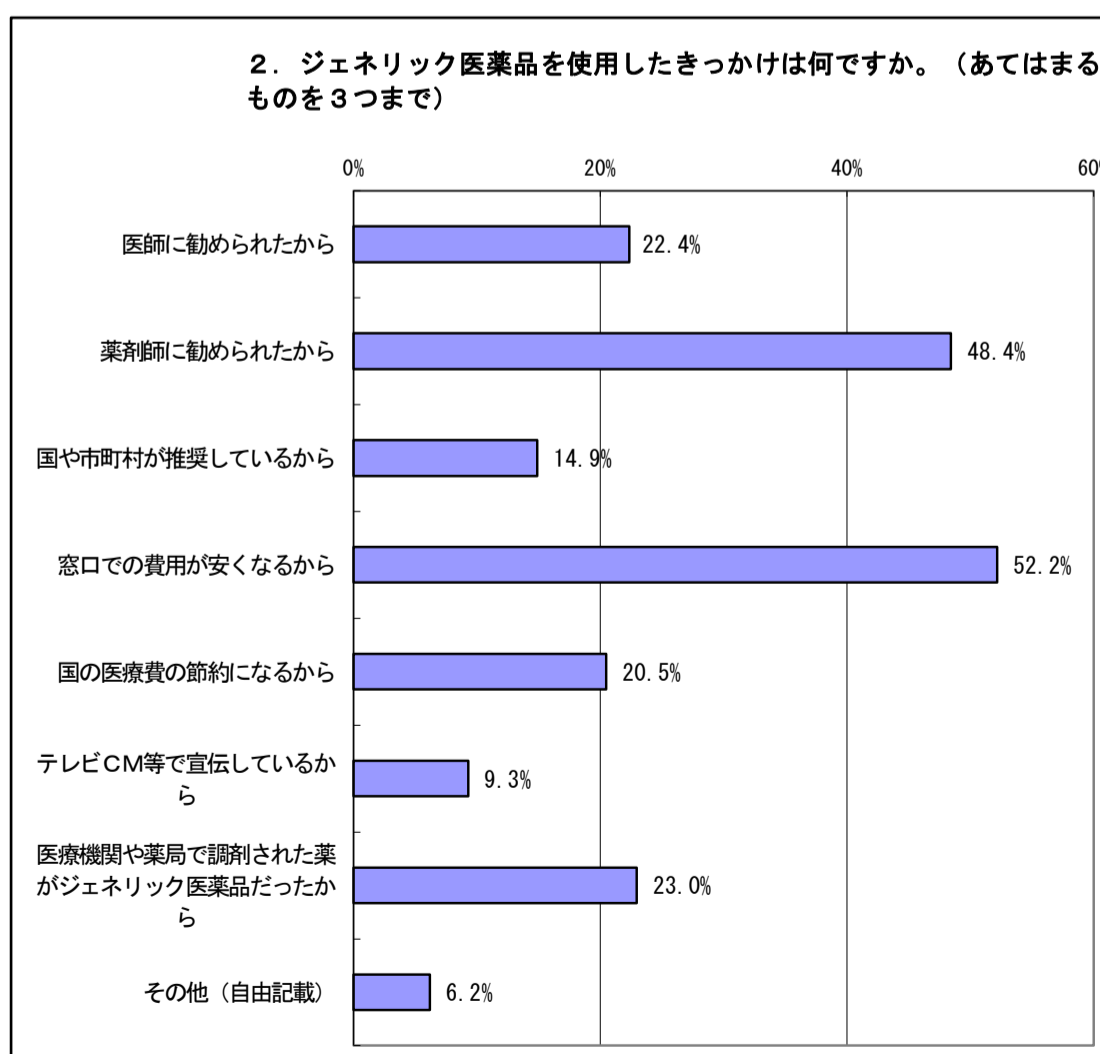
回答者の性別	回答数	比率
女性	79	39.1%
男性	123	60.9%
総計	202	100.0%



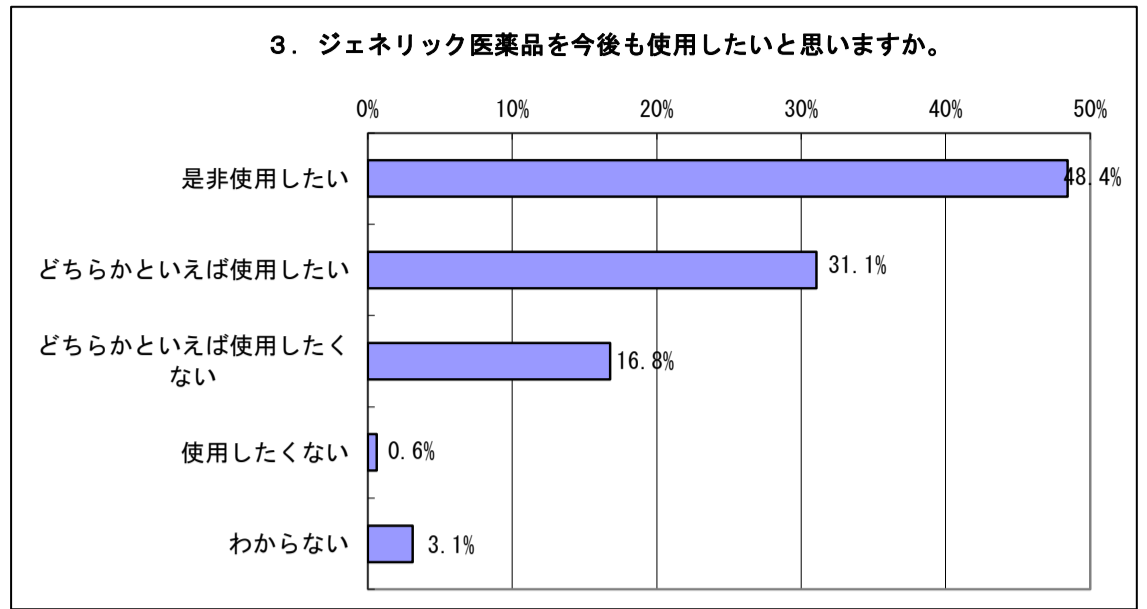
1. ジェネリック医薬品※を使用したことはありますか。 ※ジェネリック医薬品は後発医薬品とも呼ばれ、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分を使っており、効き目、品質、安全性が同等で、低価格なお薬のことです。 →この設問（Q1）で「1. ある」を選択された方はQ2へ、「2. ない」を選択された方はQ5へ、「3. 使った薬がジェネリック医薬品かどうか分からない」を選択された方はQ7へ	回答数	回答対象者	比率
ある	161	202	79.7%
ない	26		12.9%
使った薬がジェネリック医薬品かどうか分からない	15		7.4%
総計	202		100.0%



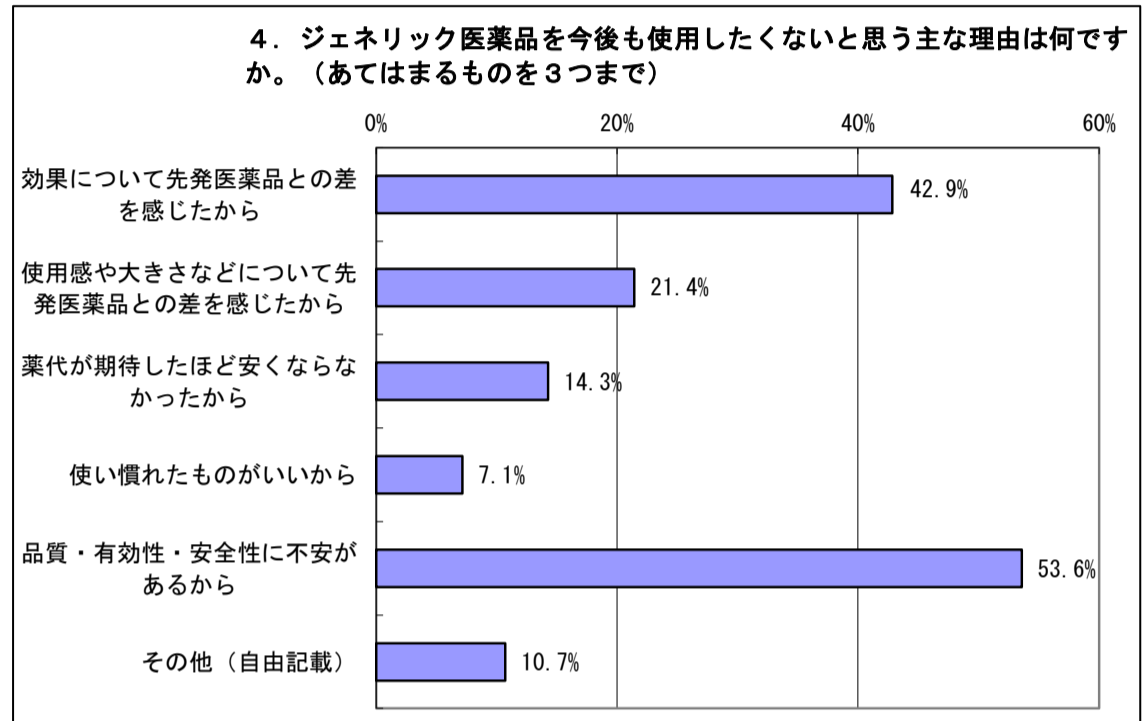
2. Q1で「1. ある」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用したきっかけは何ですか。（あてはまるものを3つまで）	回答数	回答対象者	比率
医師に勧められたから	36	161	22.4%
薬剤師に勧められたから	78		48.4%
国や市町村が推奨しているから	24		14.9%
窓口での費用が安くなるから	84		52.2%
国の医療費の節約になるから	33		20.5%
テレビCM等で宣伝しているから	15		9.3%
医療機関や薬局で調剤された薬がジェネリック医薬品だったから	37		23.0%
その他（自由記載）	10		6.2%
総計	317		



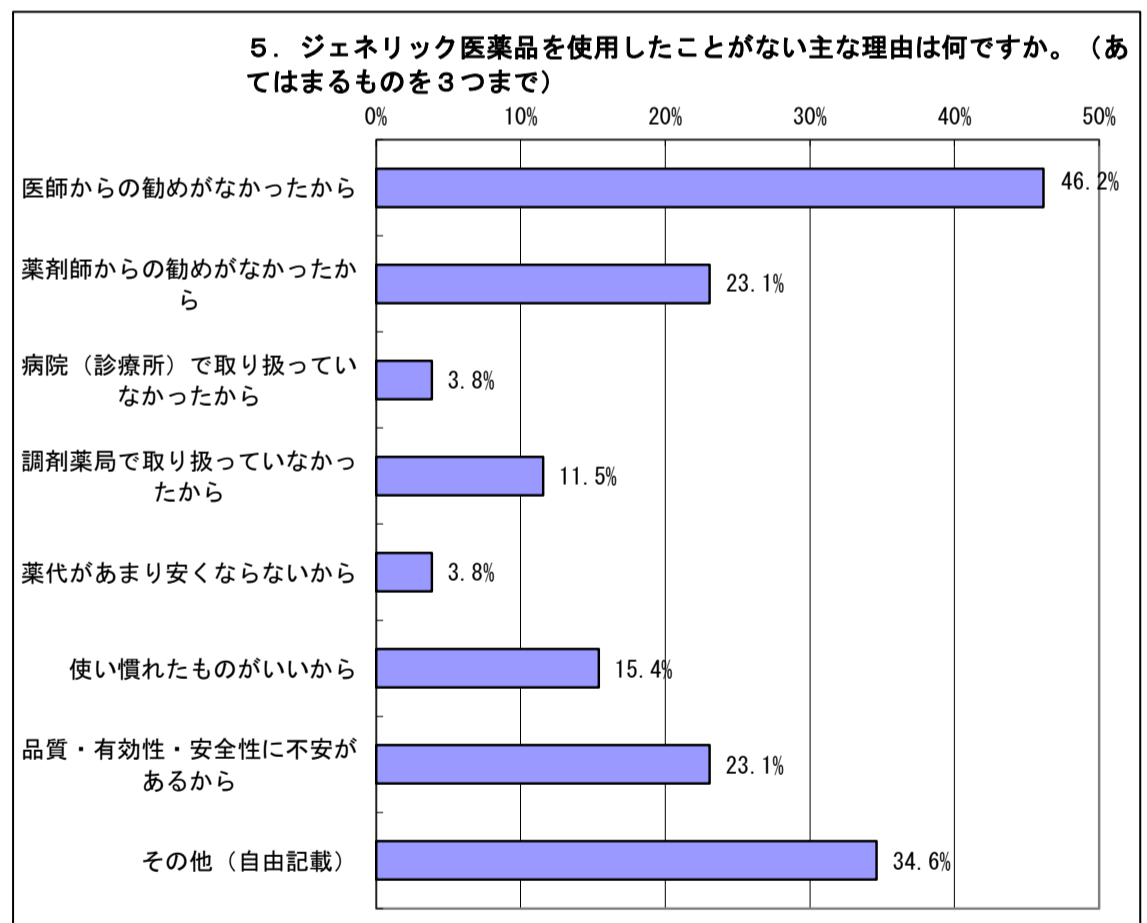
3. Q1で「1. ある」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を今後も使用したいと思いますか。→この設問(Q3)で「3. どちらかといえば使用したくない」又は「4. 使用したくない」を選択された方はQ4へ、それ以外を選択された方はQ7へ	回答数	回答対象者	比率
是非使用したい	78	161	48.4%
どちらかといえば使用したい	50		31.1%
どちらかといえば使用したくない	27		16.8%
使用したくない	1		0.6%
わからない	5		3.1%
総計	161		100.0%



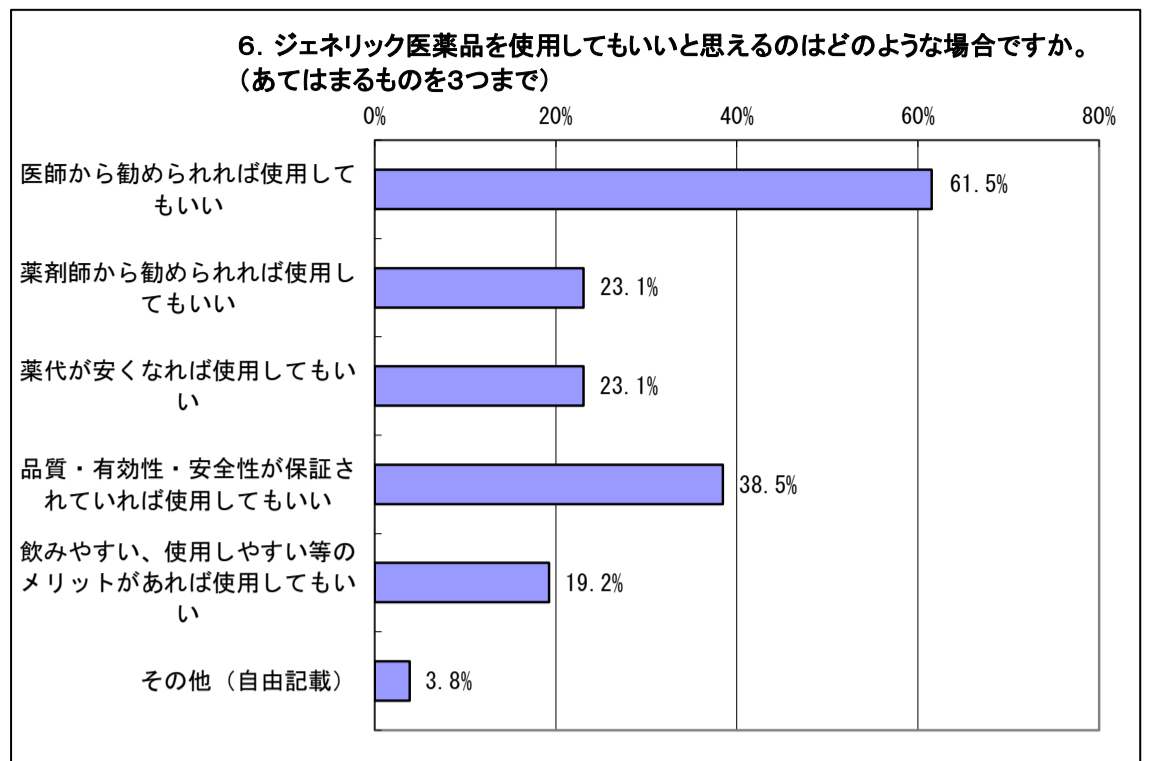
4. Q3で「3. どちらかといえば使用したくない」又は「4. 使用したくない」を選択された方におたずねします。その主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで)→この設問(Q4)を回答された方はQ7へ	回答数	回答対象者	比率
効果について先発医薬品との差を感じたから	12	28	42.9%
使用感や大きさなどについて先発医薬品との差を感じたから	6		21.4%
薬代が期待したほど安くなかったから	4		14.3%
使い慣れたものがないから	2		7.1%
品質・有効性・安全性に不安があるから	15		53.6%
その他(自由記載)	3		10.7%
総計	42		-



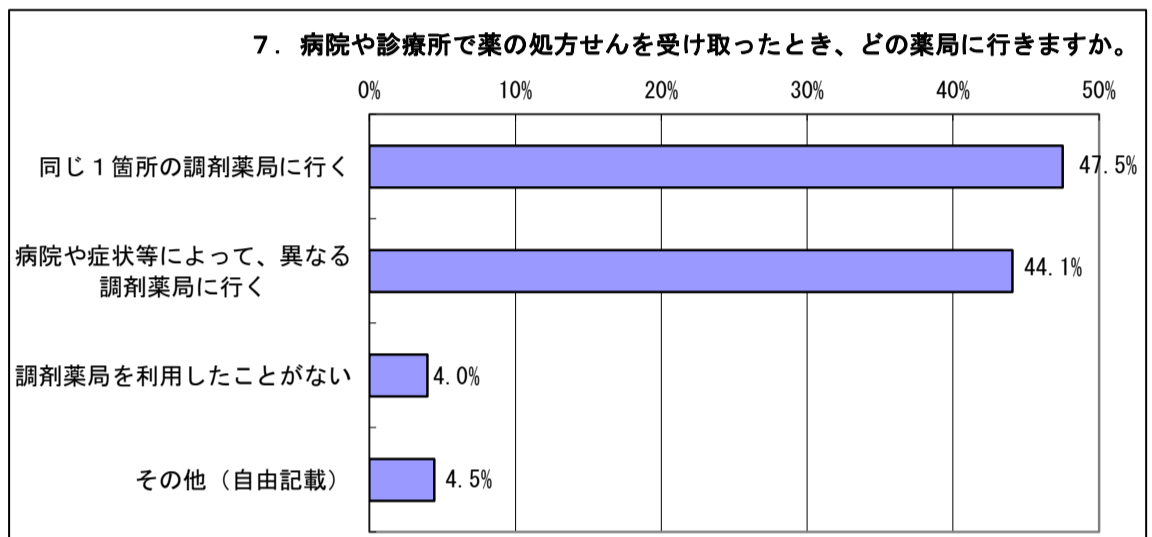
5. Q1で「2. ない」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
医師からの勧めがなかったから	12	26	46.2%
薬剤師からの勧めがなかったから	6		23.1%
病院(診療所)で取り扱ってなかったから	1		3.8%
調剤薬局で取り扱ってなかったから	3		11.5%
薬代があまり安くないから	1		3.8%
使い慣れたものがないから	4		15.4%
品質・有効性・安全性に不安があるから	6		23.1%
その他(自由記載)	9		34.6%
総計	42		-



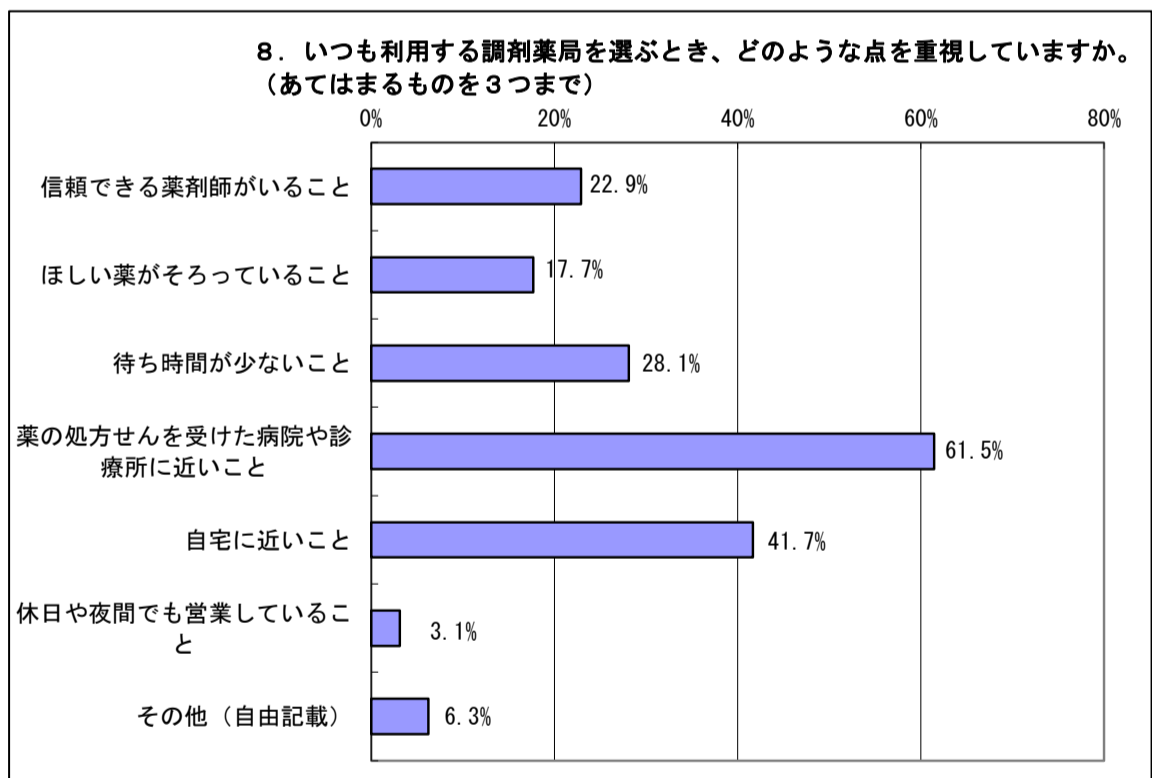
6. Q1で「2. ない」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用してもいいと思えるのはどのような場合ですか。（あてはまるものを3つまで）	回答数	回答対象者	比率
医師から勧められれば使用してもいい	16	26	61.5%
薬剤師から勧められれば使用してもいい	6		23.1%
薬代が安くなれば使用してもいい	6		23.1%
品質・有効性・安全性が保証されていれば使用してもいい	10		38.5%
飲みやすい、使用しやすい等のメリットがあれば使用してもいい	5		19.2%
その他（自由記載）	1		3.8%
総計	44		-



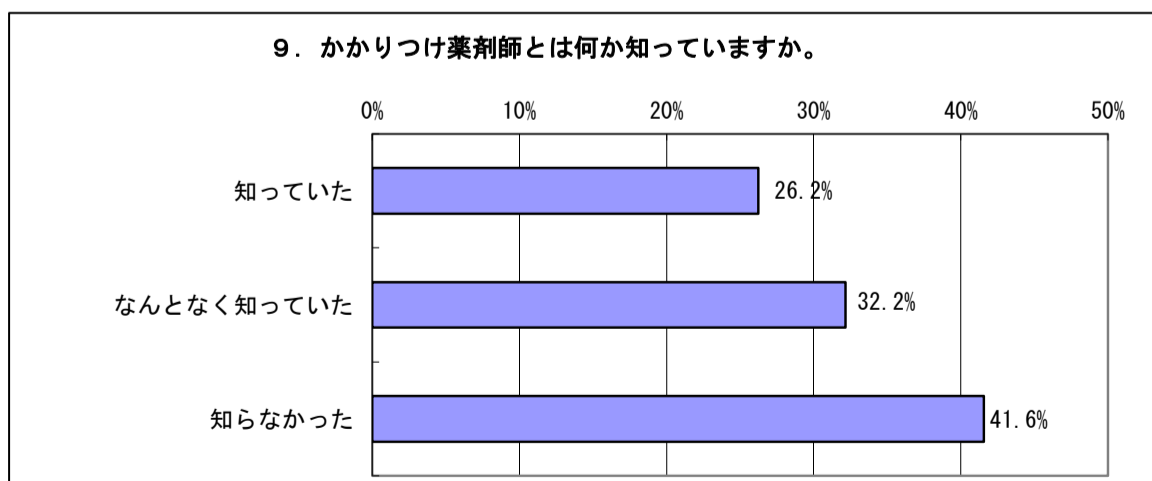
7. 病院や診療所で薬の処方せんを受け取ったとき、どの薬局に行きますか。 →この設問（Q7）で「1. 同じ1箇所の調剤薬局に行く」を選択された方はQ8へ、それ以外を選択された方はQ9へ	回答数	回答対象者	比率
同じ1箇所の調剤薬局に行く	96	202	47.5%
病院や症状等によって、異なる調剤薬局に行く	89		44.1%
調剤薬局を利用したことがない	8		4.0%
その他（自由記載）	9		4.5%
総計	202		100.0%



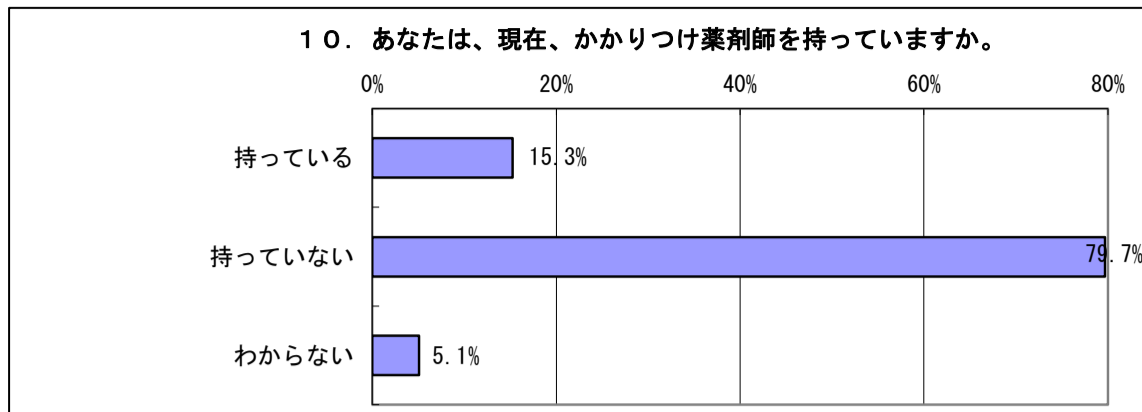
8. Q7で「1. 同じ1箇所の調剤薬局に行く」を選択された方におたずねします。いつも利用する調剤薬局を選ぶとき、どのような点を重視していますか。（あてはまるものを3つまで）	回答数	回答対象者	比率
信頼できる薬剤師がいること	22	96	22.9%
ほしい薬がそろっていること	17		17.7%
待ち時間が少ないこと	27		28.1%
薬の処方せんを受けた病院や診療所に近いこと	59		61.5%
自宅に近いこと	40		41.7%
休日や夜間でも営業していること	3		3.1%
その他（自由記載）	6		6.3%
総計	174		-



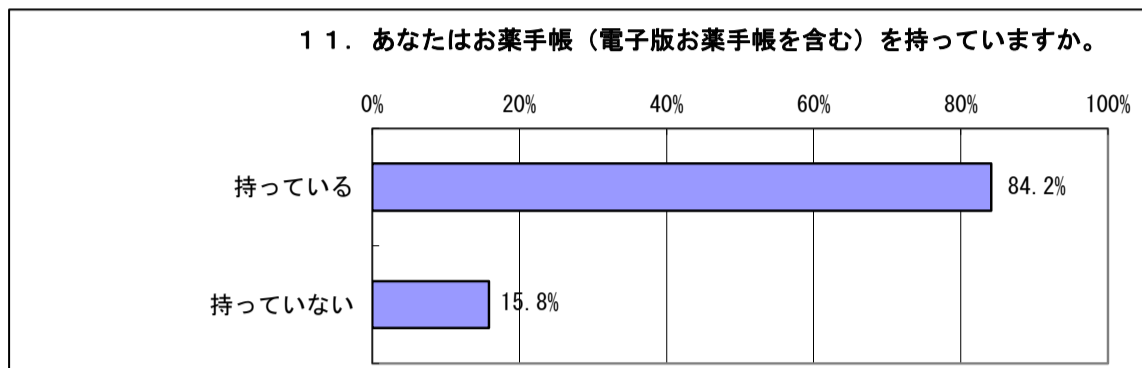
9. かかりつけ薬剤師※とは何か知っていますか。 ※かかりつけ薬剤師とは、いつも同じ薬剤師が患者さんの服薬状況や体調の変化を一元的・継続的に支援します。かかりつけ薬剤師を持つためには、患者さん本人が薬剤師を指名して同意書に署名する必要があります。なお、かかりつけ薬剤師指導料という費用が発生します。 →この設問（Q9）で「1. 知っていた」又は「2. なんとなく知っていた」を選択された方はQ10へ、「3. 知らなかった」を選択された方はQ11へ	回答数	回答対象者	比率
知っていた	53	202	26.2%
なんとなく知っていた	65		32.2%
知らなかった	84		41.6%
総計	202		100.0%



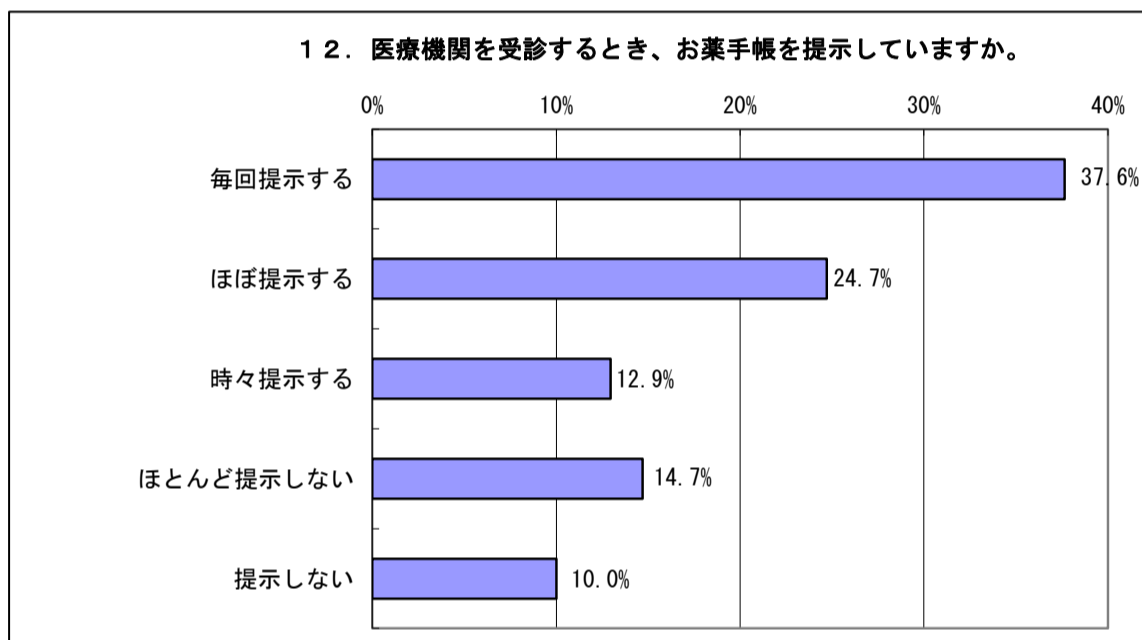
10. Q9で「1. 知っていた」又は「2. なんとなく知っていた」を選択された方におたずねします。 あなたは、現在、かかりつけ薬剤師を持っていますか。	回答数	回答対象者	比率
持っている	18	118	15.3%
持っていない	94		79.7%
わからない	6		5.1%
総計	118		100.0%



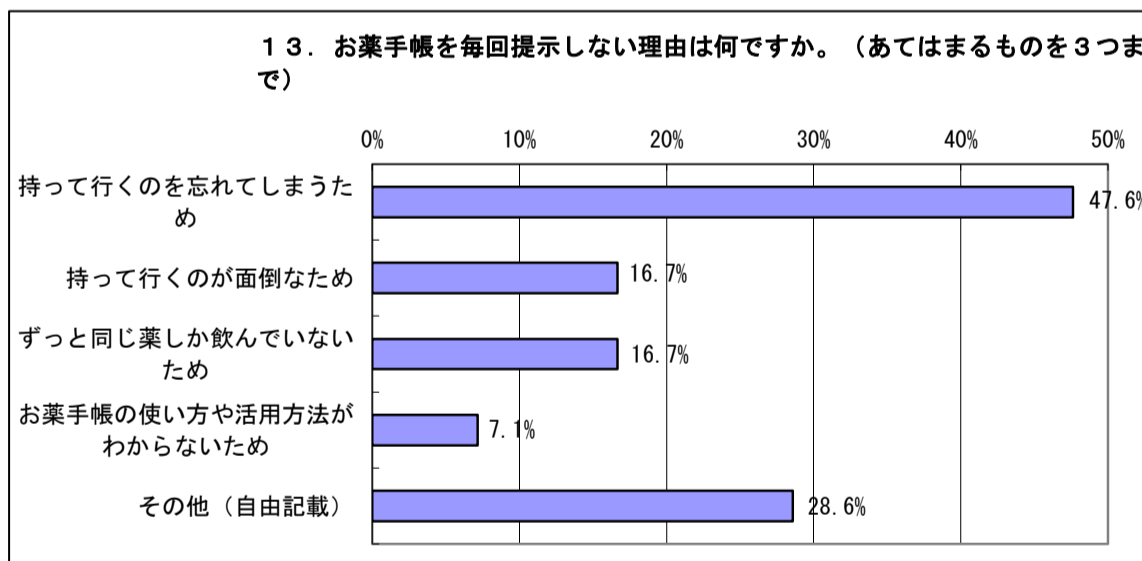
11. あなたはお薬手帳（電子版お薬手帳を含む）を持っていますか。 →この設問（Q11）で「1. 持っている」を選択された方はQ12へ、「2. 持っていない」を選択された方はQ18へ	回答数	回答対象者	比率
持っている	170	202	84.2%
持っていない	32		15.8%
総計	202		100.0%



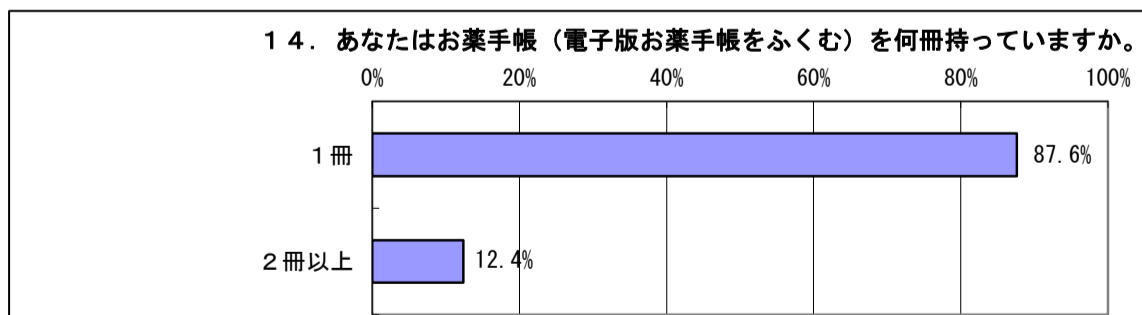
12. Q11で「1. 持っている」を選択された方におたずねします。 医療機関を受診するとき、お薬手帳を提示していますか。 →この設問（Q12）で「4. ほとんど提示しない」又は「5. 提示しない」を選択された方はQ13へ、それ以外を選択された方はQ14へ	回答数	回答対象者	比率
毎回提示する	64	170	37.6%
ほぼ提示する	42		24.7%
時々提示する	22		12.9%
ほとんど提示しない	25		14.7%
提示しない	17		10.0%
総計	170		100.0%



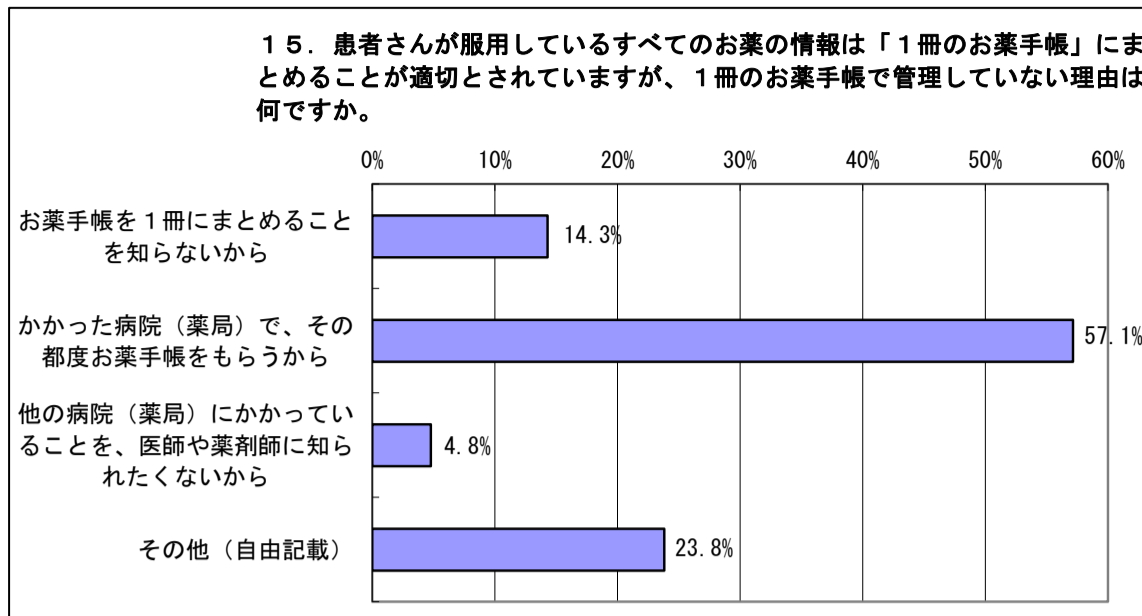
13. Q12で「4. ほとんど提示しない」又は「5. 提示しない」を選択された方におたずねします。 お薬手帳を毎回提示しない理由は何ですか。（あてはまるものを3つまで）	回答数	回答対象者	比率
持って行くのを忘れてしまうため	20	42	47.6%
持って行くのが面倒なため	7		16.7%
ずっと同じ薬しか飲んでいないため	7		16.7%
お薬手帳の使い方や活用方法がわからないため	3		7.1%
その他（自由記載）	12		28.6%
総計	49		-



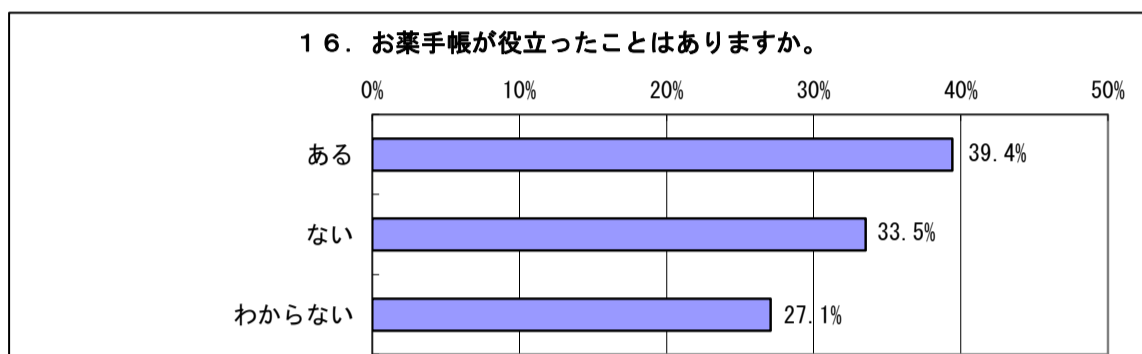
14. Q11で「1. 持っている」を選択された方におたずねします。 あなたはお薬手帳（電子版お薬手帳をふくむ）を何冊持っていますか。 →この設問（Q14）で「1. 1冊」を選択された方はQ16へ、「2. 2冊以上」を選択された方はQ15へ	回答数	回答対象者	比率
1冊	149	170	87.6%
2冊以上	21		12.4%
総計	170		100.0%



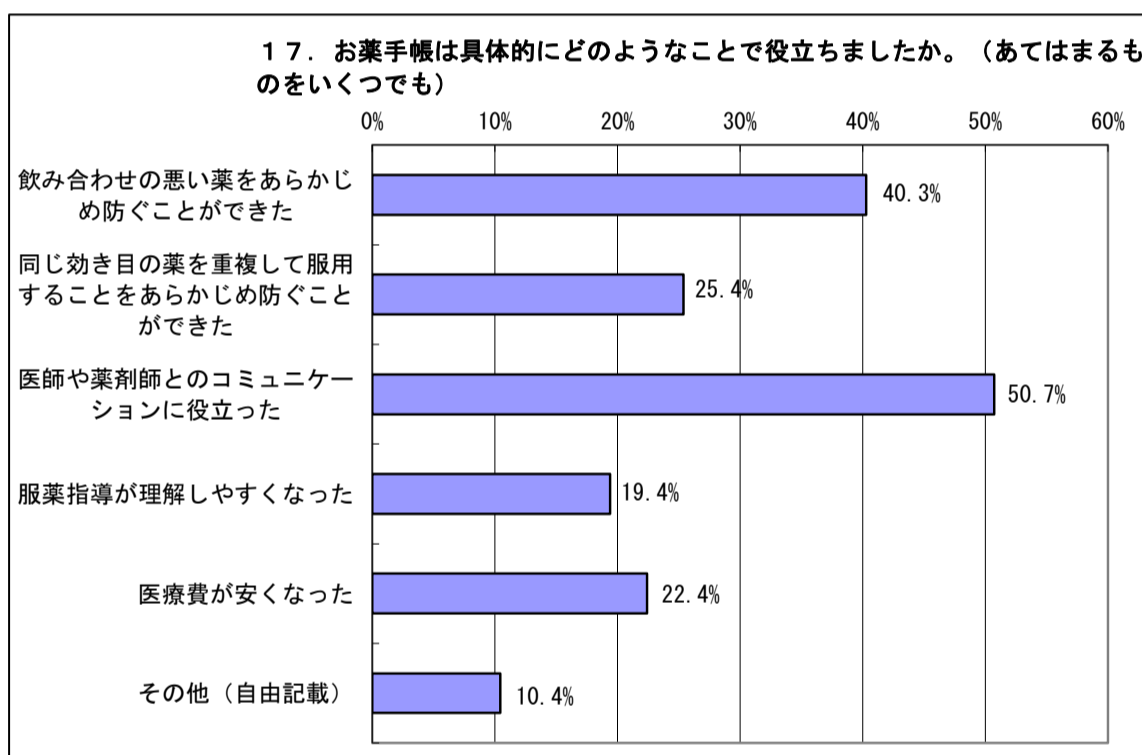
15. Q14で「2. 2冊以上」を選択された方におたずねします。 患者さんが服用しているすべてのお薬の情報は「1冊のお薬手帳」にまとめることが適切とされていますが、1冊のお薬手帳で管理していない理由は何ですか。	回答数	回答対象者	比率
お薬手帳を1冊にまとめることを知らないから	3	21	14.3%
かかった病院（薬局）で、その都度お薬手帳をもらうから	12		57.1%
他の病院（薬局）にかかっていることを、医師や薬剤師に知られたくないから	1		4.8%
その他（自由記載）	5		23.8%
総計	21		100.0%



16. Q11で「1. 持っている」を選択された方におたずねします。 お薬手帳が役立ったことはありますか。 →この設問（Q16）で「1. ある」を選択された方はQ17へ、それ以外を選択された方はQ18へ	回答数	回答対象者	比率
ある	67	170	39.4%
ない	57		33.5%
わからない	46		27.1%
総計	170		100.0%



17. Q16で「1. ある」を選択された方におたずねします。 具体的にどのようなことで役立ちましたか。（あてはまるものをいくつか）	回答数	回答対象者	比率
飲み合わせの悪い薬をあらかじめ防ぐことができた	27	67	40.3%
同じ効き目の薬を重複して服用することをあらかじめ防ぐことができた	17		25.4%
医師や薬剤師とのコミュニケーションに役立った	34		50.7%
服薬指導が理解しやすくなった	13		19.4%
医療費が安くなった	15		22.4%
その他（自由記載）	7		10.4%
総計	113		-



18. その他医薬品の服用に関してご意見があればお書きください。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	62	-	-

（一部抜粋）

国の医療費（健康保険料）の節減のため、飲み残しの薬を減らす対策をして欲しい。

ジュネリック医薬品に対する信用度合いがまだ低いように思われます。

安心できるように添え書き（安心できる説明等）をして頂ければ、もう少し不安がなくなり、結果として国全体の経費節減をはじめ必要以上の薬を出さないようにしていくことを前提に疎通が図れるようになれば良いと考えます。

医者にかかる時、薬手帳を提示する事により、重複および副作用の回避が可能となるため是非携帯すべきと考えます。